

事例10

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代、舌癌術後頸部リンパ節転移がある患者。抗血栓療法中。
- ・ 頸部リンパ節郭清術を施行。手術時間は約6 時間半。皮膚縫合後、ドレーンからの血性排液が多いため、一部開創して止血確認。深部からの明らかな出血は認めず、確認できる範囲を止血。術中出血量は約800 mℓ、手術終了後に抜管。
- ・ 病棟帰室時より、創部から少量の出血、軽度の息苦しさや頸部腫脹、鼻閉感があった。約1時間半後、創部に内出血を認め、その後、頸部腫脹、息苦しさや頸部圧迫感の訴えがあった。気管挿管、気管切開術を試みたが困難。心肺停止となり、18G針を気管に刺入、再度の気管切開術で気道確保した後、開創。他院に搬送されたが、当日死亡。
- ・ 死因は、気道閉塞。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。